

# マイクロマシン／MEMS 分野関連 経済報告 2023 年 4月号

2023年4月3日  
(一財) マイクロマシンセンター  
<https://www.mmc.or.jp/>

マイクロマシン／MEMS 分野を取り巻く経済・政策動向のトピックをいろいろな観点からとらえて発信しています。今月の経済報告をお届けします。

## 掲載内容

1. 全般動向 (内閣府発表 景気動向指数より)
2. 各経済指標
  - ・内閣府公表 月例経済報告 より
  - ・内閣府公表 設備投資 (機械受注統計調査報告) より
  - ・経済産業省公表 鉱工業指数調査より
3. その他の動向

### 1. 全般動向

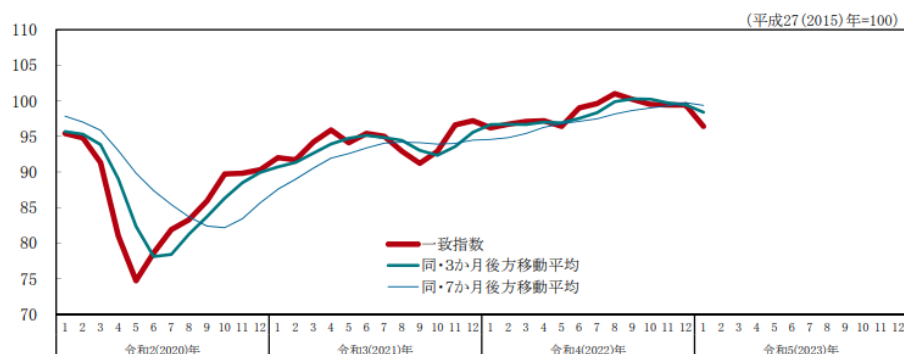
#### ■ 景気動向指数 (改訂値) 結果 (内閣府、経済社会総合研究所 発表より抜粋) 令和 5 (2023) 年1月分速報からの改訂状況 (令和5(2023)年3月27日発表) より

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202301rsummary.pdf>

- ① 1月分 CI (平成 27(2015)年 = 100) (改訂値)は、  
先行指数：96.6、一致指数：96.4、遅行指数：100.6
- ② 一致指数の基調判断  
景気動向指数 (CI 一致指数) は、足踏みを示している。

	1月分CI (平成27(2015)年=100)	
	速報	改訂
先行指数	96.5	96.6
一致指数	96.1	96.4
遅行指数	99.5	100.6

#### 一致指数の推移



▶ 内閣府「景気動向指数」関連 TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/di.html>

▶ 参考 - 景気動向指数「令和 5 (2023) 年1月分 (速報) (令和5年3月8日公表)」 pdf：

(概要) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202301psummary.pdf>

(速報資料) <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/202301report.pdf>

## 2. 各経済指標

- 月例経済報告（3月）（内閣府、令和5年3月22日 公表）  
（「月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料」より抜粋）  
▶ <https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/03kaigi.pdf>

### <日本経済の基調判断>

（現状）【判断維持】

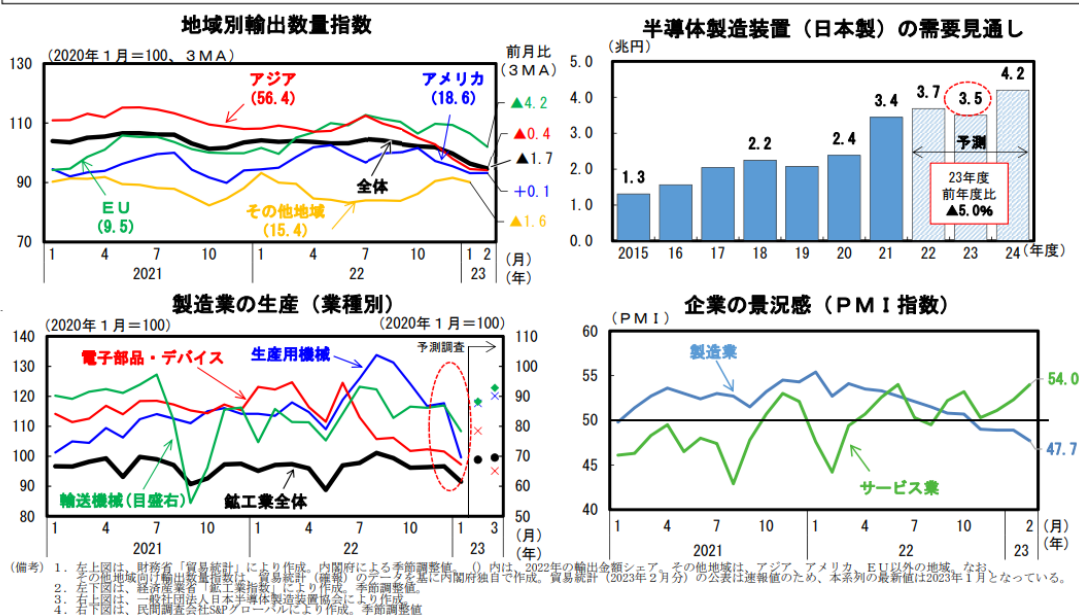
- ・ 景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している。

（先行き）

- ・ 先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

### 今月の指標(2) 輸出と生産の動向

- ▶ 我が国の輸出は、半導体市況の軟化等を背景として、アジア向けを中心に全体として弱含み。
- ▶ 製造業の生産は、市況悪化に伴う半導体の在庫調整と、それを受けた海外での半導体製造装置の投資先送り等により、電子部品・デバイスや生産用機械でマイナス傾向となるなど、このところ弱含み。
- ▶ コロナ禍で大きく成長した我が国の半導体製造装置の売上高は、中長期的には拡大が見込まれるも、当面は需給の調整局面となり、23年度は前年度比マイナスの見込み。
- ▶ こうした中、企業の景況感は製造業で低下傾向。一方、サービス業では上昇傾向が続いている。



- ▶ 内閣府「月例経済報告（令和5年3月）」(pdf)：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/2023/0322getsurei/main.pdf>
- ▶ 内閣府「月例経済報告等に関する関係閣僚会議」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/kaigi.html>
- ▶ 内閣府「月例経済報告」TOP ページ：  
<https://www5.cao.go.jp/keizai3/getsurei/getsurei-index.html>

## ■ 設備投資 令和5年1月実績：機械受注統計調査報告

(令和5年3月16日 内閣府 経済社会総合研究所 公表より抜粋)

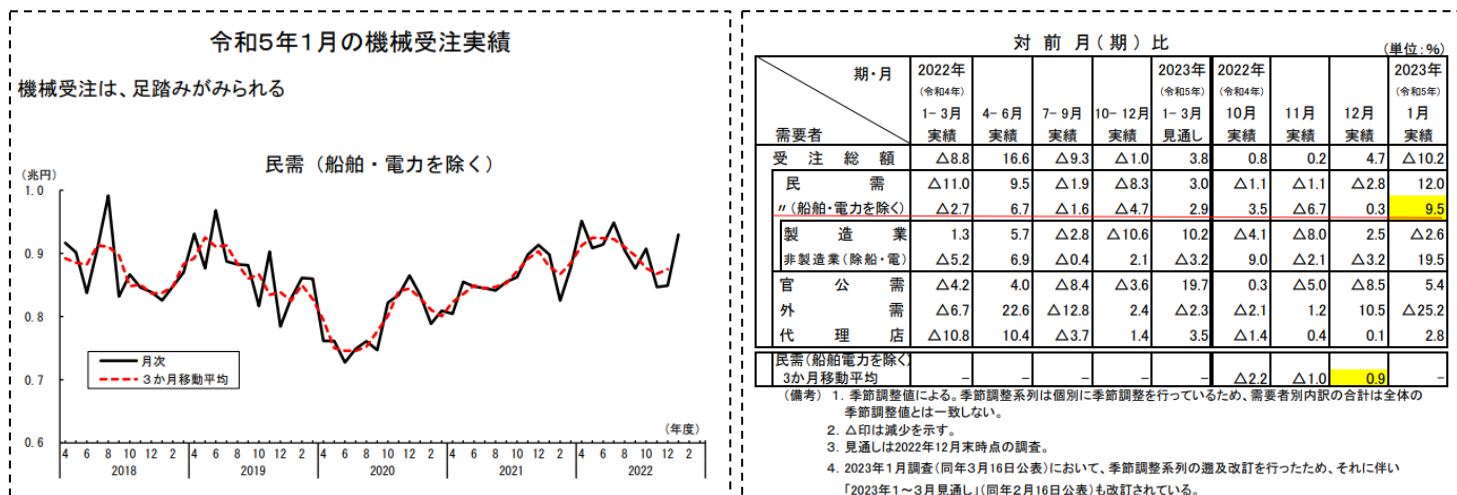
▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2301juchu.html>

調査結果の概要（季節調整値）：

1. 機械受注総額の動向をみると、  
2022（令和4）年12月前月比4.7%増の後、2023（令和5）年1月は同10.2%減の2兆5,274億円となった。
2. 需要者別にみると、  
民需は前月比12.0%増の1兆538億円、官公需は同5.4%増の2,446億円、  
外需は同25.2%減の1兆977億円、代理店は同2.8%増の1,230億円となった。
3. 民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」の動向をみると、  
2022（令和4）年12月前月比0.3%増の後、2023（令和5）年1月は同9.5%増の9,296億円となった。このうち、製造業は同2.6%減の3,930億円、非製造業（除く船舶・電力）は同19.5%増の5,399億円となった。

(以下図表は「令和5年1月の機械受注実績 概要（PDF版）」より抜粋)

▶ <https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2301gaiyou.pdf>



▶ 参考-機械受注統計調査報告（本文）（令和5年1月実績）

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/2023/2301juchu-1.pdf>

▶ 内閣府「経済社会総合研究所 統計表一覧：機械受注統計調査報告関連」TOP ページ：

<https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html>

## ■ 鉱工業指数(生産・出荷・在庫、生産能力・稼働率、生産予測指数)

～製造業の動きから見る日本の景気～ (経済産業省 2023年3月31日発表)

【2023年2月分】鉱工業指数の動向(速報)より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015\\_202302sj.pdf](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/pdf/press/b2015_202302sj.pdf)
- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015\\_202302sj.html](https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result/book/b2015_202302sj.html)

### － 生産は弱含み －

- ・ 今月は生産、出荷、在庫は上昇、在庫率は低下であった。
- ・ 製造工業生産予測調査によると、3月、4月ともに上昇を予測している。
- ・ 総じてみれば、生産は弱含んでいる。

### ・生産は、前月比4.5%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業等  
低下業種：化学工業(除、無機・有機化学工業・医薬品)、  
電気・情報通信機械工業、その他工業等

### ・出荷は、前月比3.6%の上昇。

上昇業種：自動車工業、生産用機械工業、電子部品・デバイス工業等  
低下業種：輸送機械工業(除、自動車工業)、パルプ・紙・紙加工品工業、  
石油・石炭製品工業等

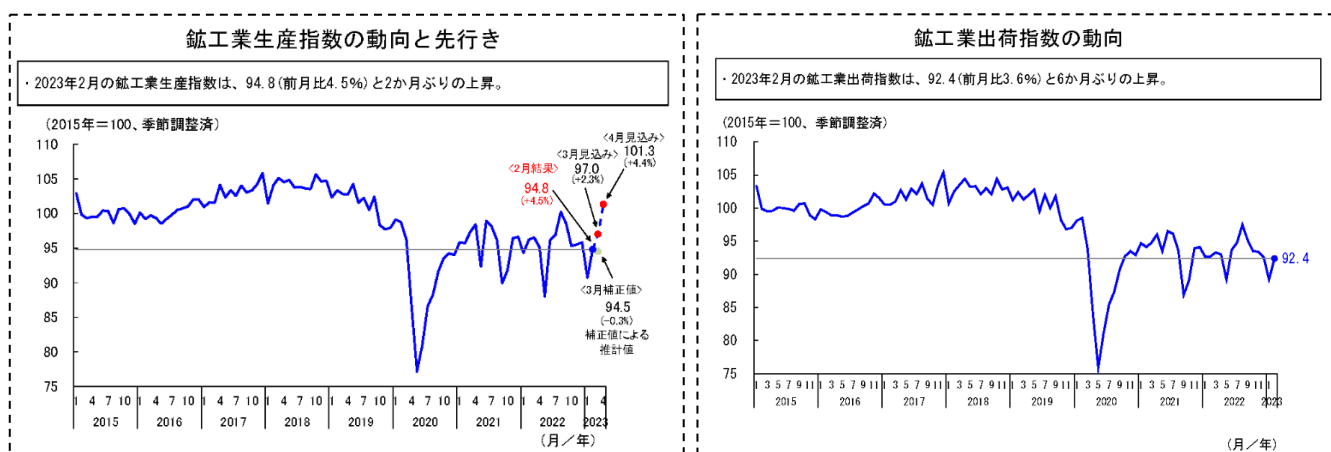
### ・在庫は、前月比1.4%の上昇。

低下業種：自動車工業、汎用・業務用機械工業、電子部品・デバイス工業等  
上昇業種：電気・情報通信機械工業、鉄鋼・非鉄金属工業、無機・有機化学工業等

### 2月の「最新指数の解説」より抜粋

- ▶ [https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230331\\_1.html](https://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/archive/kako/20230331_1.html)

(解説) 2月の鉱工業生産は、自動車工業や生産用機械工業を中心に上昇したことなどから、全体として前月比4.5%と、2か月ぶりの上昇。基調判断は、「弱含み」に据え置き。



詳細は以下の経済産業省 ホームページをご参照下さい。

鉱工業指数(最新の)「結果の概要」:

- ▶ <https://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

### 3. その他の動向

#### ■ 電子部品グローバル出荷統計

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA)、2023年3月31日発表より抜粋)

#### 【2023年1月動向概況】

- ・ **2023年1月のグローバル出荷額は**  
3,232億円、前年比90.2%となり、前年比マイナスとなった。
- ・ **品目別出荷は**  
受動部品 (前年比87.3% 1,524億円)、接続部品 (同90.7% 765億円)、  
変換部品 (同102.9% 544億円)、その他の電子部品 (同85.7% 398億円) となった。
- ・ **地域別出荷は**  
日本 (前年比93.6% 679億円)、米州 (同106.6% 391億円)、  
欧州 (同117.8% 417億円)、中国 (同71.7% 935億円)、  
アジア・その他 (同97.5% 806億円) となった。

#### 【月別出荷金額】

##### 1. 月別出荷金額 (2023.03.31 発表：毎月更新)

電子部品出荷額 (億円)	2022年度						2022年度累計		
	11月		12月		1月		4月-1月		
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	
世界計	3,787	96	3,423	94	3,232	90	36,907	103	
(日本)	783	89	766	93	679	93	7,498	98	
品目別	受動部品	1,759	94	1,633	93	1,524	87	17,602	101
	コンデンサ	1,235	92	1,147	92	1,088	85	12,430	100
	抵抗器	175	111	159	102	146	96	1,694	110
	トランス	52	130	49	124	43	106	462	126
	インダクタ	257	90	247	94	217	91	2,630	99
	その他	37	81	29	66	26	58	384	92
	接続部品	928	103	856	98	765	90	9,059	108
	スイッチ	379	109	331	101	316	95	3,454	107
	コネクタ	544	99	521	96	445	87	5,569	108
	その他	4	149	3	105	3	127	35	117
	変換部品	649	93	493	88	544	102	5,851	109
	音響部品	20	71	19	69	24	86	234	84
	センサ	203	90	194	89	178	82	2,034	92
	アクチュエータ	425	96	279	89	341	120	3,583	125
	その他の電子部品	450	93	440	93	398	85	4,393	94
	電源部品	259	144	235	125	218	121	2,238	123
	高周波部品	191	63	205	72	180	63	2,155	75

#### 【地域別出荷金額】

##### 2. 地域別出荷金額

«2022年度»

地域別出荷金額 (億円)	2022年度						2022年度累計	
	11月		12月		1月		4月-1月	
	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)	金額(億円)	前年比 (%)
グローバル	3,787	96	3,423	94	3,232	90	36,907	103
日本	783	89	766	93	679	93	7,498	98
米州	428	119	388	112	391	106	4,291	125
欧州	409	113	323	109	417	117	3,758	115
中国	1,257	85	1,188	85	935	71	12,930	95
アジア他	904	105	751	96	806	97	8,385	107

詳細は以下の JEITA (電子情報技術産業協会) ホームページをご参照下さい。

▶ [https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info\\_stati.html](https://home.jeita.or.jp/ecb/information/info_stati.html)

以上